

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.78

【発行】千葉県テレビ伝道協力会

〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2

CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」

TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072

E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)

ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>

郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台

2-1 OCCビル

TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650

E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)

ホームページ <http://www.pba-net.com>

でんわ世の光 03-3291-9061

### 「ミッショナルな心をもって」

日本長老教会おゆみ野キリスト教会牧師 ダニエル・アイバーソン

在りし日、私の祖父はマイアミでダンスホールを借りて15名のメンバーで教会を始めました。常に人々が信仰告白し、健全な教会として成長し続け、1952年には礼拝出席者が約1200人となり、5つの開拓教会を生み出すほどでした。ところが2年前、この教会は死んでしまいました。文字通り死んだのです。街中に美しくそびえる会堂が売却されてしまったのです。この50年間、教会は少しずつ病に蝕まれ、ついに死を迎えたのでした。約1200人の礼拝者が1000人になり、800人から400人になり、100人になり、そして70歳を超える信者が30人残されました。一時の活気は跡形もなく、教会のドアが閉められました。

アメリカで多くの教会が継続的に成長しているのは事実です。しかし一方で健康であったはずの教会がゆっくりと病気になる、死に至るケースも、見聞きするようになりました。会堂に赤ん坊がハイハイし、青年らが遊び、人々が受洗する光景を目にする機会が減り、いつしか教会の中に若者が消え去るのです。アメリカでの現象は、10-20年後に日本に波及するといわれています。しかし私はこの現象(エントロピー)が既に日本の教会にも起こっていると感じます。

教会が病気になる一つの理由は、権威と靈感を秘めた『聖書』に対し、自らの献身と信仰を失っていくことにあります。しかし私の祖父の教会に、この問題が該当したわけではありません。教会を終幕させるまで、彼らは聖書を信じ、神学的な意味で福音的な教会でした。では一体何が起こったのでしょうか。

祖父が退職した後、この教会は町のためのミッショナル(Missional 伝道に燃える心、魂に対する愛)な心を持ったことです。教会が外向きではなく、少しずつ内向きになり、私達の必要、私達のプログラム、私達の建物・・・と、プロテスタントクリスチャンとして「聖書のみ」を告白しているにもかかわらず、「伝統のみ」が優先されて、伝統的なスタイル、自分らの好きな礼拝形式や教会生活が、滅び行く魂への思いよりも大切になってしまったのです。

Iコリント9:21-23において、私たちは使徒パウロの宣教心に満ちた姿勢を見ます。“弱い人々には、弱い者になりました。律法を持たない人の救いのために、律法を持たない人のようになりました(無論、罪を犯しません)。”彼は福音のため、失われた魂を救うため、全てのことをすると告白しています。私たち日本にあるキリストの教会は、ポストモダンの日本文化を解釈しなければなりません。絶対的な真理のために命をかけますが、絶対的ではないものためには人の救いのために変化をいといません。

失われた魂に対するイエス様の心、そしてパウロのミッショナルな心、即ち自分の伝統や快適な教会生活を喜んで差し出すという心の姿勢が大切です。いつも主が神であるのに貧しい姿をとり、この地上に来て下さったことを覚え、その心に倣いたいのです。現代の人達には現代の言葉、テレビ、インターネットと、何でも福音のために用いるのです。

祖父の教会が、健康である時にこの事を学ばなかったことは残念です。意図的ではなかったにせよ自己中心であったことを否認しません。日本での教会開拓・形成は非常に難しいです。されどエントロピーの法則に陥らないよう祈りつつ、主に知恵を頂き、努めていきたいと願う者です。

ミッショナルな心から、福音宣教のためにすべてのことをすることができますように。福音を必要としているこの国の救いのために。